

# 瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策事業 実施結果について 【令和2年度及び令和3年度】

## 1. 概要

本市では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や市民生活を支援することを目的として、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下、「臨時交付金」という。）も活用しながら、国や県の施策と合わせて、「生活支援」「事業支援」「教育支援」「感染防止」を柱とした各種支援事業を実施しています。

ここでは、令和2年度及び3年度における新型コロナウイルス感染症対策事業の実施結果及びその効果について、報告します。

## 2. 事業数及び事業費

本市では、令和2年度及び3年度に249件（20,630,353千円）の新型コロナウイルス感染症対策事業を実施しました。このうち、住民生活を支援する「1 生活支援」が37事業（16,753,322千円）、地域経済を支援する「2 経済支援」が61事業（1,585,870千円）、児童生徒の学びを確保する「3 教育支援」が48事業（595,986千円）、「4 感染防止」が103事業（1,695,175千円）となっています。

また、国の給付金や県の支援金・協力金に係る事業は37事業（17,464,887千円）で、本市独自の事業が212事業（3,165,465千円）となっています。

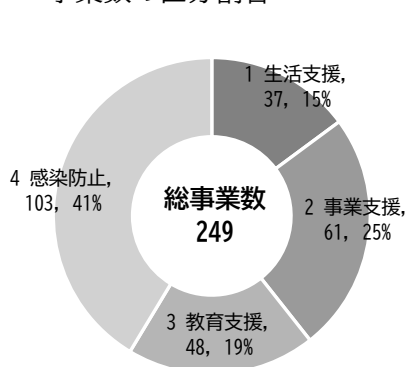
### 臨時交付金交付額

<令和2年度>  
1,189,572千円  
  
<令和3年度>  
737,860千円

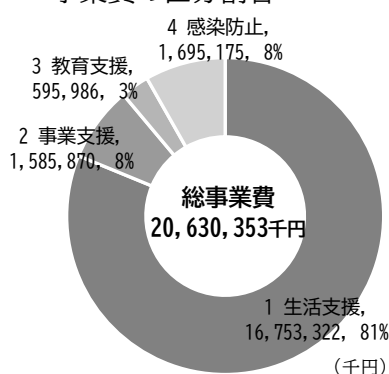
事業区分	総事業		国の給付金等に係る事業		本市独自の事業 (一部補助事業含む)	
	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)
1 生活支援	37	16,753,322	17	16,342,070	20	411,253
2 事業支援	61	1,585,870	8	20,568	53	1,565,302
3 教育支援	48	595,986	4	2,761	44	593,225
4 感染防止	103	1,695,175	8	1,099,489	95	595,686
合計	249	20,630,353	37	17,464,887	212	3,165,465

※千円未満切り上げのため、合計と内訳が合わない場合があります。

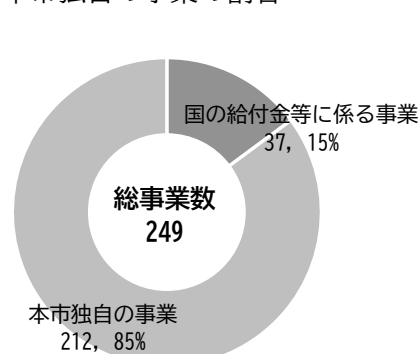
<事業数の区分割合>



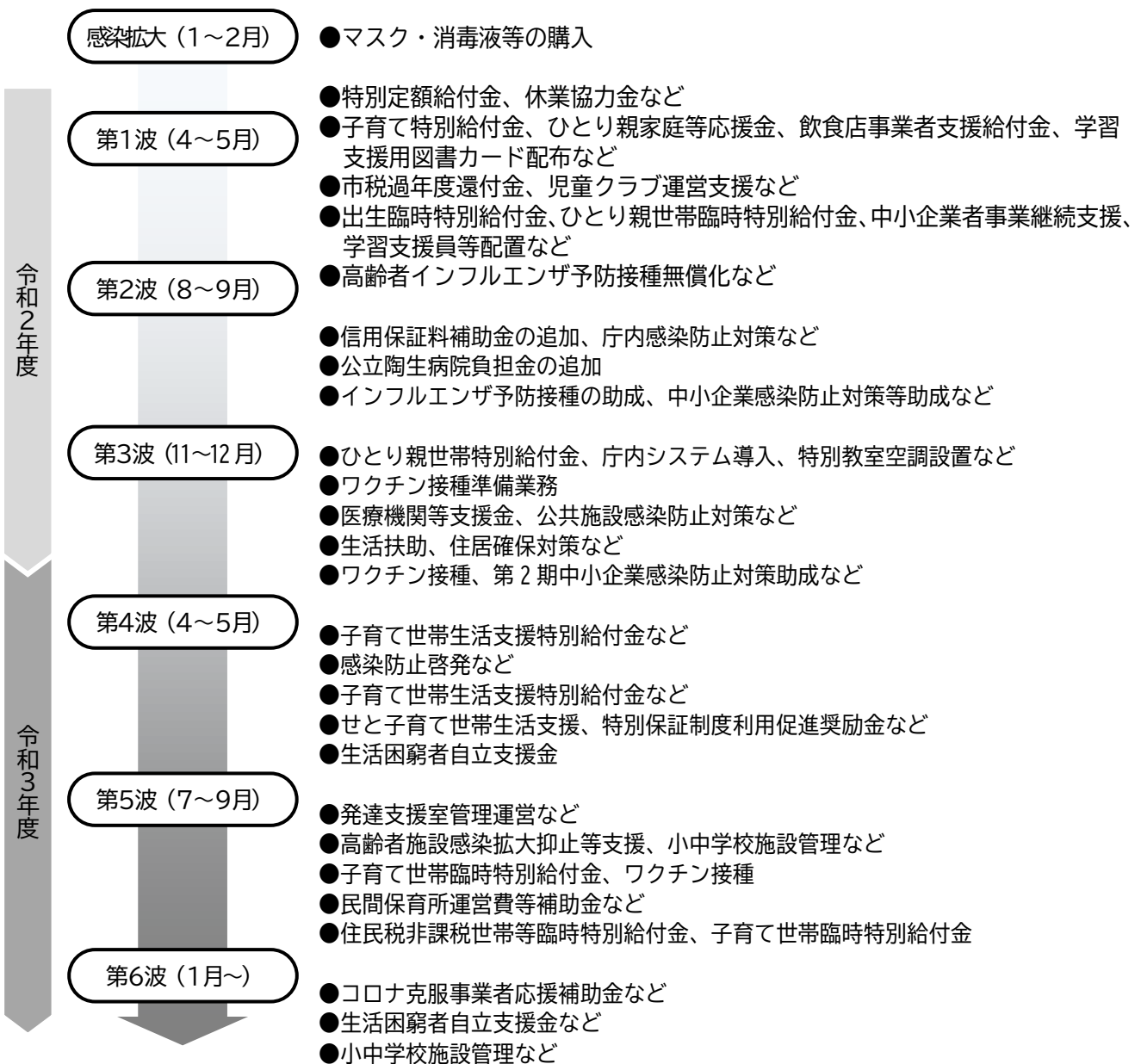
<事業費の区分割合>



<本市独自の事業の割合>



### 3. 主な事業内容



#### 総括

令和2年度は、緊急事態宣言の発令に伴う休業協力要請を踏まえ、国や県の施策と合わせて、市独自の給付金や支援金の給付等により、新型コロナウイルスによって影響を受けた日常生活・事業活動への支援を実施しました。また、マスク・消毒用アルコール等の備品購入やパーティション設置、自動水栓の導入等による公共施設の感染拡大防止対策を実施しました。さらに、国からの臨時休校が要請される中、児童生徒の学びを保障するため、電子教科書の導入やWi-Fi環境の整備等の教育支援を実施し、DX推進により接触機会の低減、感染リスクの低減につながる事業を実施しました。

令和3年度は、庁内においても、接触機会の更なる低減に向けた電子決裁・ファイリングシステムの導入等のDX推進に取り組むとともに、アフターコロナ・ウィズコロナを見据えて、新しい働き方の促進や事業活動の継続・活性化に資する事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、大きな影響を受ける低所得世帯への支援、児童生徒の学習面・精神面への支援を拡充して実施しました。